

Great Satsumasendai from great women

~女性の管理職登用について~

はじめに

女性活躍が重要視される現在の日本。
しかし日本の女性管理職登用の割合は
世界の先進国に比べると差がある。
そして私たちが住む薩摩川内市も
例外ではない。

ずばり、登用とは？

登用・・・官職などに取り立てること。
また、人をそれまでより高い地位に引き上げて用いること。

日本での対策

- 「ニイマル・ニイマル・サンマル」

2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%

- 「女性活躍推進法」

2016年からの10年間の時限立法

工夫しているが、
思うように結果が出ていない

本市の分析

定義〉

ここにおける管理職とは、課長級相当を表す。

右記が示している通り、

薩摩川内市の女性管理職登用は進んでいない！

	全体	女性	厚生労働省「平成30年度雇用均等調査」
役員	1003人	251人(25%)	1,000~4,000人規模
管理職	107人	6人(6%)	6.9%
課長補佐相当	200人	26人(13%)	15.6%
係長相当	93人	19人(20%)	23%

女性管理職のメリット

- 適度な強度のチームワーク
- 社内でのロールモデル化
- **多様性を持った組織の構築**
- 人材の獲得と流出防止

女性管理職のメリット

集団浅慮(グループシンク)

集団で何かの決定を行う際にその意見が正しいかどうかを適切に判断・評価できなくなってしまうこと。

「三人寄れば文殊の知恵」の全く逆の効果

→起こりにくい



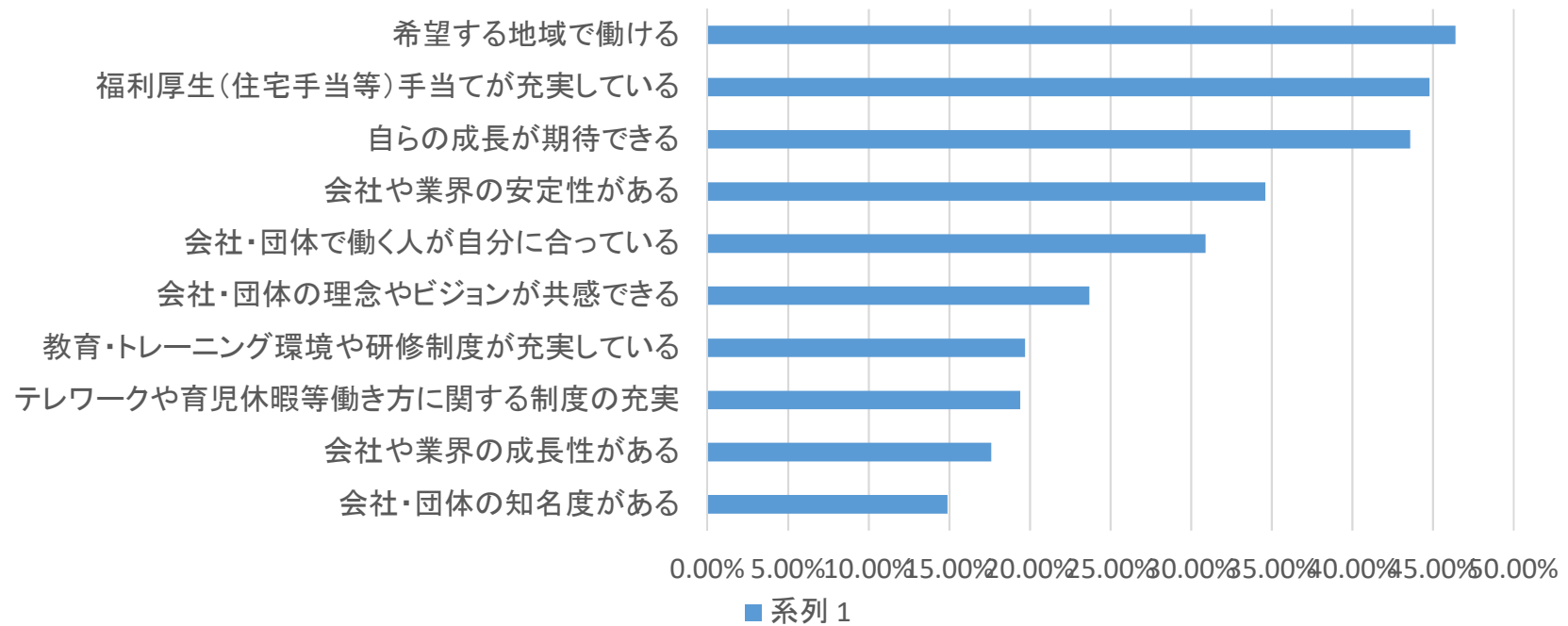
男性陣だけの考え方

→女性特有の視点や柔軟な発想の反映

政策提言（打開策）

- ・各企業において一定の基準を設け、それに達したときに謝礼金の贈呈。
- ・女性の管理職登用に積極的な会社、企業を「広報薩摩川内」にて紹介する。

女性就活生企業選び決め手



結論・まとめ

女性の管理職登用を押し進めることは企業内に良い効果をもたらすだけではなく、社会全体にも良い影響を与える。

女性の管理職登用について市で全力を挙げて取り組むべき問題である。

引用・参考文献

薩摩川内市役所

日経スタイル

テレワークナビ

ハイジ

リクルートキャリア

地域経済分析システム (RESAS)